

「ゾーン30プラス」の整備による効果検証結果(静岡県浜松市中区野口・八幡町地区)

- 野口・八幡町地区では令和4年7月に「ゾーン30プラス」の整備計画を策定し、令和4年11月までに短期対策（ゾーン30プラス看板・路面標示等）を完了。
- 効果検証を行った結果、事故件数およびシケイン設置箇所での車両走行速度の低下が認められた。
- 当地区からは「対策をしたことで地域の安全意識が高まった」との声があった。



■推進体制

- ・浜松中央警察署
- ・浜松市
- ・浜松市教育委員会
- ・野口町
- ・八幡町

■取組経緯

浜松市通学路交通安全対策連絡会を活用するなど、地域住民等からの意見を踏まえた交通安全対策を実施

H28.11： 浜松市通学路連絡会等を活用し、野口・八幡町地区の課題と対策案について地域住民等から意見聴取

H29~H31： 安全対策実施（シケイン・狭さく等設置）

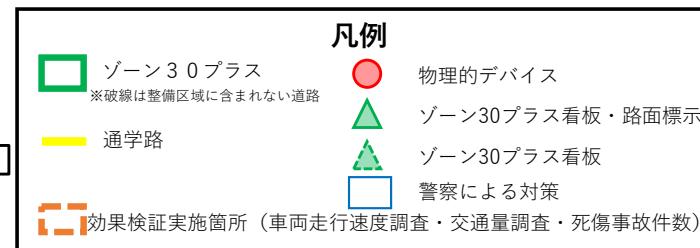
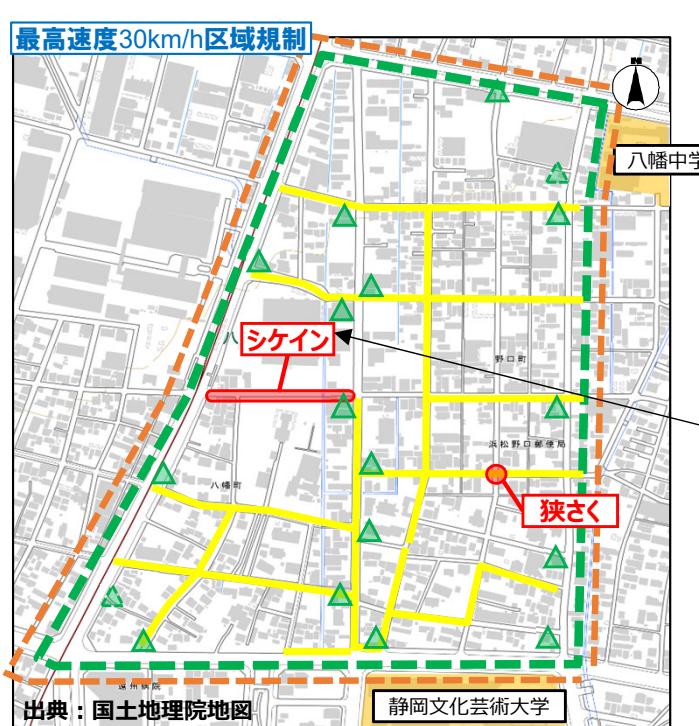
H30.2： ゾーン30指定

H31.3： 物理的デバイス（シケイン・狭さく）等の設置

R4.5： 「ゾーン30プラス」整備計画（案）を地域住民等と作成

R4.7： 「ゾーン30プラス」整備計画の策定

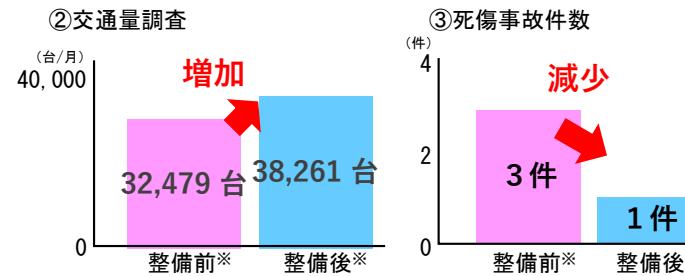
R4.11： 短期対策の整備完了



■効果検証結果

- ①車両走行速度調査
※整備前：ETC2.0データ（H28.4）
整備後：ETC2.0データ（R5.10）

	85%タイル値速度
整備前	34.3 km/h
整備後	26.2 km/h



※整備前：ETC2.0データ_プローブ台数(R4.10) ※整備前：R4.4.1~6.30（3ヶ月間）の死傷事故件数
整備後：ETC2.0データ_プローブ台数(R5.10) 整備後：R4.12.1~R5.2.28（3ヶ月間）の死傷事故件数

④地域住民からの声



対策をしたことで地域の安全意識が高まった

